

新内科学大系

感染症Ⅳ

1978.3.31



新内科学大系

55

感染症Ⅳ

東大名譽教授 吉 利
浜松医科大学長 中 尾 喜 久 和
自治医大学長 山 形 敏 一
東北大学教授 三 辺 謙 一
慶大教授 黒 岩 義 五 郎
九大教授 織 田 敏 次
阪大教授 山 村 雄 一

〈監 修〉

(内部交流)



中山書店

第 55 卷

(15 冊) 全

1975 年 1 月 25 日 第 1 刷発行

検印省略

新内科学大系 (全 60 巻)

第 55 巻《感染症 IV》©

監 修

吉 利 和
中 尾 喜 久
山 形 敏 一
三 辺 謙
黒 岩 義 五
織 田 敏 次
山 村 雄 一

発 行
発 行 所

中 山 三 郎 平
株式会社 中 山 書 店

〔製作〕 株式会社 中山・新内科学大系刊行部
東京都文京区本郷 3 の 14 の 10 (泰生ビル)
TEL. 8 1 3—1 1 0 1 (代表) 郵便番号 113

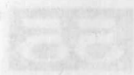
〔販売〕 東京都文京区本郷 3 の 6 の 12 (太平ビル)
TEL. 8 1 5—0 6 7 7 (代表) 郵便番号 113

〔取引〕 東京都千代田区神保町 2 の 24
TEL. 2634-5511 振替東京 196565 郵便番号 101

印刷／凸版印刷株式会社 製本／松岳社青木製本所
用紙／三菱製紙株式会社 表紙／ダイニック株式会社

3347-211402-5612

内田大系



VI 山内大系

鎮目和 東女医大教授
山形大教授
石川 東大講師
鈴木 東大助教授
和田 東大助教授
土屋 慶大助教授
愛媛大教授
国府 達

夫 誠 郎 攻 春 郎

〈編集〉

〈山内大系〉

（東京山内）

中山書局

尾 前	九 大 教 授	阿 部	阪 大 教 授	高 安	国 立 京 都 病 院 長	脇 坂	滋 賀 医 大 学 長	山 田	中 部 勞 災 病 院 長	真 下	東 大 教 授	堀 内	東 大 教 授	豐 倉	東 大 教 授	小 坂	東 大 教 授	村 尾	東 大 教 授	滝 島	東 北 大 教 授	中 村	山 形 大 教 授	白 石	北 大 教 授	村 尾	北 大 教 授
照				正	行	弘	啓	淑	康	樹	覺	任	隆	忠	誠												
雄	裕	夫	一	三	明	彦	夫	德	覺	任	隆	雄	誠														

〈監修協力〉

德臣晴比古	熊大教授	高岡善人	長大教授	小坂淳夫	岡大教授	木下康民	新大教授	武内重五郎	東医歯大教授	増田正典	京府医大教授	日比野進	国立名古屋病院 院長	名大名誉教授	上田泰	慈大教授	和田武雄	札幌医大教授
-------	------	------	------	------	------	------	------	-------	--------	------	--------	------	---------------	--------	-----	------	------	--------

〈顧問〉

勝木司馬之助	宮崎医科大学長	九大名誉教授	吉田常雄	国立大阪病院院長	阪大名譽教授	三宅儀	国立京都病院名誉院長	京大名譽教授	青山進午	名城病院院長	田坂定孝	関東労災病院名誉院長	冲中重雄	東大名譽教授	学士院會員	黒川利雄	東北大名譽教授	学士院會員
--------	---------	--------	------	----------	--------	-----	------------	--------	------	--------	------	------------	------	--------	-------	------	---------	-------

〈名誉顧問〉

第55卷

感染症 IV

著者

順大助教授	池 本 秀 雄	順大講師	渡 辺 一 功
横市大教授	福 島 孝 吉	久大教授	皆見紀久男
愛媛大教授	小 林 譲	都立荏原病院 副院長	斎 藤 誠
鹿大教授	佐 藤 八 郎	鹿大講師	尾 辻 義 人
鹿大内科	中 島 哲	都立荏原病院 院長	中 溝 保 三
鹿大内科	前 田 忠	東海大教授	中 山 一 郎
福島県立三春 病院院長	大 川 知 之	京府医大教授	吉 田 幸 雄
東大助教授	田 中 寛	慶大教授	浅 見 敬 三
新大教授	大 鶴 正 満	横市大教授	林 滋 生
金大教授	吉 村 裕 之	弘大教授	山 口 富 雄
鹿大教授	福 島 英 雄	前久大教授	岡 部 浩 洋
千大教授	横 川 宗 雄	国立予研室長	鈴 木 了 司

(執筆順)

目 次

I. 真菌症

A. 放線菌症	池本秀雄, 渡辺一功...	3
1. 定 義		3
2. 歴 史		3
3. 分 類 学		3
4. 感染源および感染経路		4
5. 病 型		4
6. 発生頻度		5
7. 病 理		5
8. 臨 床		6
a. 顔面・頸部放線菌症		6
b. 胸部放線菌症		6
c. 腹部放線菌症		7
d. その他		7
9. 診 断		8
10. 鑑別診断		9
11. 治 療		9
12. 予 後		10
B. ノカルジア症	福島孝吉...	12
1. 定 義		12
2. 歴 史		12
3. 菌 学		12
4. 病 理		14
5. 免 疫 学		14
6. 地理的分布		14
7. 頻 度		14
8. 疫 学		15
9. 臨 床		15

a. 肺ノカルジア症	15
b. 脳ノカルジア症	16
c. 全身性ノカルジア症	16
10. 治 療	17
C. カンジダ症 (モニリア症)	福島孝吉 20
1. 定 義	20
2. 歴 史	20
3. 菌 学	20
4. 病 理	22
5. 免 疫 学	23
6. 地理的分布	23
7. 頻 度	23
8. 疫 学	23
9. 臨 床	25
a. 粘膜カンジダ症	26
b. 皮膚カンジダ症	26
c. 内臓カンジダ症	27
10. 診 断	29
11. 治 療	29
D. アスベルギルス症	福島孝吉 32
1. 定 義	32
2. 歴 史	32
3. 病 理	32
4. 菌 学	34
5. 免 疫 学	35
6. 地理的分布	35
7. 頻 度	35
8. 疫 学	36
9. 臨 床	36
a. 呼吸器アスベルギルス症	37
b. 全身性アスベルギルス症	41
c. 菌 腫 症	42

d. オトミコーシス	42
e. 爪炎および爪囲炎	42
f. 角膜真菌症	42
g. その他のアスペルギルス症	43
10. 治 療	43
E. クリプトコックス症	福島孝吉 46
1. 定 義	46
2. 歴 史	46
3. 菌 学	46
4. 病 理	46
5. 免 疫 学	47
6. 地理的分布	48
7. 頻 度	48
8. 疫 学	48
9. 臨 床	49
a. 肺クリプトコックス症	50
b. 中枢神経系クリプトコックス症	50
c. 皮膚および粘膜のクリプトコックス症	51
d. 骨および関節のクリプトコックス症	52
e. リンパ節クリプトコックス症	52
f. 全身性クリプトコックス症	52
g. 造血器クリプトコックス症	52
10. 診 断	52
11. 治 療	52
F. 藻菌症(ムコール症)	福島孝吉 56
1. 定 義	56
2. 歴 史	56
3. 菌 学	56
4. 病 理	56
5. 地理的分布	57
6. 頻 度	57
7. 疫 学	57
8. 臨 床	57

a. 肺藻菌症	58
b. 脳藻菌症	58
c. その他の藻菌症	58
9. 診 断	59
10. 治 療	59
G. プラストミシス症(北アメリカプラストミシス症)	福島孝吉 60
1. 定 義	60
2. 歴 史	60
3. 菌 学	60
4. 病 理	61
5. 地理的分布	62
6. 疫 学	62
7. 臨 床	63
8. 診 断	63
9. 治 療	64
H. バラコクシジオイデス症(南アメリカプラストミシス症)	福島孝吉 65
1. 定 義	65
2. 歴 史	65
3. 菌 学	65
4. 病 理	67
5. 地理的分布	67
6. 頻 度	67
7. 疫 学	67
8. 臨 床	67
a. 粘膜皮膚型	67
b. リンパ型	68
c. 内臓型	68
d. 骨 型	68
e. 混合型	68
9. 診 断	68
10. 治 療	69
I. コクシジオイデス症	福島孝吉 70

1. 定 義	70
2. 歴 史	70
3. 菌 学	70
4. 病 理	72
5. 免 疫 学	73
6. 地理的分布	73
7. 頻 度	74
8. 疫 学	74
9. 臨 床	75
a. 初感染コクシジオイデス症	75
b. 播種性コクシジオイデス症	76
10. 診 断	77
11. 治 療	77
J. ヒストプラズマ症	福島孝吉 78
1. 定 義	78
2. 歴 史	78
3. 菌 学	78
4. 病 理	79
5. 免 疫 学	80
6. 地理的分布	81
7. 頻 度	81
8. 疫 学	81
9. 臨 床	82
a. 肺ヒストプラズマ症	82
b. 播種ヒストプラズマ症	84
10. 診 断	84
11. 治 療	84
〔付〕 アフリカヒストプラズマ症	85

II. スピロヘータ症

A. 梅 毒	皆見紀久男 89
1. 定 義	89

6 目 次

2. 歴 史	89
3. 病 原 体	89
4. 病理組織	89
5. 疫 学	91
6. 梅毒の感染経過	91
一般経過	92
7. 臨床症状	93
a. 第1期梅毒	93
b. 第2期梅毒	94
c. 第3期梅毒	97
d. 第4期梅毒	98
e. 先天梅毒	98
8. 梅毒血清反応	100
a. <i>Treponema pallidum</i> の検出法	100
b. 梅毒血清反応	100
9. 治療方法	104
a. 早期梅毒	104
b. 晩期梅毒	105
c. 妊婦梅毒	106
d. 先天梅毒	106
B. フランベジア(苺腫, 熱帯性覆盆子腫).....	皆見紀久男 108
1. 定 義	108
2. 病 因	108
3. 病理組織	108
4. 臨床症状	108
5. 診断および鑑別診断	109
6. 治 療	109
C. ヒ ン タ	皆見紀久男 110
1. 定 義	110
2. 病 因	110
3. 病理組織	110
4. 臨床症状	110
5. 治 療	111

D. レプトスピラ病	小林 譲	112
1. 概 念		112
2. 歴史と分類		112
3. 病 原		114
4. 疫 学		115
5. 病 理		119
6. 臨 床		121
a. 黄疸出血性レプトスピラ病 (Weil 病)		121
b. イヌ型レプトスピラ病		126
c. 秋季レプトスピラ病		130
7. 診 断		131
a. 臨床的診断		131
b. 検査室内診断		132
c. 鑑別診断		134
8. 治 療		135
a. 血清療法		135
b. 化学療法		135
c. 一般療法		137
9. 予 防		137
a. 感染経路の遮断		137
b. 予防接種		138
c. 抗生物質あるいは免疫血清の予防的使用		138
E. 回 帰 熱 (再帰熱)	小林 譲	142
1. 定 義		142
2. 歴 史		142
3. 原 因		142
4. 疫 学		144
5. 症 状		145
6. 診 断		145
a. 臨床的診断		145
b. 検査室内診断		146
c. 鑑別診断		146
7. 合 併 症		147

8. 予 後	147
9. 治 療	147
10. 予 防	147
F. 鼠 咬 症	小林 譲 150
1. 概 念	150
2. 原 因	150
3. 疫 学	150
4. 症 状	151
5. 診 断	151
a. 臨床的診断	151
b. 検査室内診断	152
6. 予 後	152
7. 治 療	152
8. 予 防	152
〔付〕 <i>Streptobacillus moniliformis</i> による鼠咬症	152

III. 原虫性疾患

A. アメーバ症	斎藤 誠 157
1. 定 義	157
2. 歴 史	157
3. 分 類	158
4. 病因および病態生理	159
a. 株による病原性の強弱	159
b. 腸内細菌の影響	160
c. 組織侵襲	161
5. 病理組織	162
6. 疫 学	163
a. アメーバ赤痢発生状況	163
b. 赤痢アメーバ保有率	164
c. アメーバ赤痢多発例	164
7. 臨 床	165
a. 潜 伏 期	165

b. 自覚症および他覚症	165
c. 病 型	165
d. 検査所見	166
8. 診断, 鑑別診断	167
赤痢アメーバの検査	168
9. 合併症	168
a. 腸管の合併症	168
b. 肝アメーバ症	169
c. 肺アメーバ症	169
d. その他のアメーバ症	170
10. 経過, 予後	170
11. 治療, 予防	170
a. 治療方針	170
b. 投与薬剤	171
c. 各種薬剤の効果の比較	173
d. 予 防	174
B. マラリア	佐藤八郎, 尾辻義人, 中島 哲 176
1. 定 義	176
2. 歴 史	176
3. 病原体およびその発育	178
a. 三日熱マラリア原虫	178
b. 四日熱マラリア原虫	179
c. 熱帯熱マラリア原虫	180
d. 卵型マラリア原虫	180
e. カ体内におけるマラリア原虫の発育	182
f. ヒト体内におけるマラリア原虫の発育	182
4. 疫 学	184
5. 症 状	186
a. 潜 伏 期	186
b. 前駆症状	186
c. 発熱発作	186
d. 検査所見	187
6. 病理解剖	188